

利用者団体の意見集約の状況

○市民会館

- 1 市民会館建設の基本的な考え方
 - ① 市民会館の現状と課題
 - ・ 駐車場が狭く、平日の催事を断っていた。駐車場の確保
 - ・ 搬入口の確保。
 - ・ 舞台横にスペースが必要。
 - ・ 外を回らない関係者通路。
 - ・ 絶対的にトイレの数が少なかった。
 - ・ 上手、下手どちらにもいけるように。
 - ・ 楽屋等が古い。
 - ② 市民会館建設の必要性
 - ・ 文化の拠点として必要
 - ・ 文化ホールとの差別化
 - ・ 全国レベルの講演会
- 2 市民会館建設の基本的な考え方
 - ① 基本理念、基本方針
 - ・ 身の丈にあったホール
 - ・ 市民と自衛隊との文化交流
 - ・ 公園と一体化した建物
- 3 市民会館の基本指標
 - ① 想定客席数
 - ・ 固定席800、立見200席で1000席
 - ・ 固定席1000席
 - ② 客席の形状（固定式、移動式、併用）
 - ・ 固定（音楽ができる）
 - ・ ゆったりした座席
- 4 機能に関する考え方
 - ① ホール形式
 - ・ 反響版、クラシック可能
 - ② 舞台装置
 - ・ デジタル、IED照明、付替可能、プロジェクター
 - ③ 楽屋
 - ・ 大きさにメリハリ、風呂シャワー、男女トイレ
 - ・ 湯沸かし部屋
 - ④ ホワイエ

- ・事務室から見える位置
- ・空間を作って明るいイメージ
- ⑤ リハーサル室
 - ・ピアノが必要
- ⑥ 会議室
 - ・美術展示機能をもたせる。
 - ・ホール等から移動しやすい場所にも必要
- ⑦ 事務室
 - ・ホールから離れていない
 - ・入り口を通過して事務室の前を通る形式
- ⑧ その他
 - ・W i F i の整備
 - ・エレベータの位置（導線をよく考える）
 - ・エレベータは必要最小限に（維持管理にコストが掛かる）
 - ・親子室、授乳室

○図書館

1 新図書館の必要性

① 現図書館の現状と課題の整理

- ・施設的に貸し借りだけでなく、学習するスペースが必要。
- ・書架の高さ。
- ・書庫がない。せまい(スペースがない)。
- ・本が探しにくい。
- ・ゆったり選べる室内がほしい。床とか音のくいものがよい。
- ・車椅子が通りにくい。
- ・建物自体利用しにくい。
- ・駐車場が遠い、少ない。
- ・書庫が段ボールで一杯。探すのに時間がかかる。

② 新図書館の必要性

- ・学校現場における、学習に対する姿勢、自ら学ぶ姿勢が弱い。子供は親の背中を見て育つため、大人が学ぶためには図書館の重要性が増している。
- ・病院や老人施設などと図書館との連携を強め、読書環境を広げる。
- ・産業支援の視点からも図書館が必要。(例：研究にするための資料、文献)
- ・横のつながり、弾力的運用

3 図書館に必要な基本指標

① 面積

- ・せまい。書架の高さが高く、台に載って本をとることはありえない。
- ・通常カウンターの奥に事務室があり、市民の動きが把握しやすく、職員も動きやすい
- ・今の倍、広ければ広いほどよい。

② 蔵書目標

- ・冊数にこだわらない。特色をもたせる。(例：水産を主など)
- ・建物の大きさによる。

③ 書庫

- ・充実が必要。県立図書館では地下に書庫がある。

4 市民サービスの考え方

① 図書館システム

- ・団体貸付を増やす。学校、児童クラブ、福祉施設、読み聞かせ団体、保育園、会社、病院など。
- ・利用者の検索端末が一つなので、多いほうがよい。

② レファレンスサービス

- ・パソコンデータで検索。中国地区と県内では連携がとれている。
- ・できません、ありませんは駄目
- ・探すのに時間が掛かる（段ボールがあちこち）

③ 閲覧

- ・分館は貸し借りできない。スペースが狭い。新聞もどこまで保管するのか。

④ 自衛隊との交流

- ・自衛隊が観測する天気の情報を確認するコーナー。

5 市史関係

- ・図書館と一つになればよい。
- ・郷土資料室が必要（米子市立図書館）
- ・他の市史の取り扱い
- ・資料のデジタル化

6 機能に関する考え方

① 閲覧室

- ・せまい。パソコン台数が少ない。電子機器の最先端が必要。

② 自衛隊コーナー

- ・自衛隊のコーナーを作り、クイズラリーのようなものを行う
- ・自衛隊資料の展示。
- ・自衛隊新聞

③ 児童コーナー

- ・赤ちゃん向けの本
- ④ その他
 - ・AVスペース
 - ・作業室
 - ・ベビーベッド、授乳室
 - ・読みきかせの部屋
 - ・子供用のトイレ
 - ・書架等にユニバーサルデザイン
 - ・自転車置き場、ハートフル駐車場。

○竜ヶ山公園周辺エリア

- 1 体育館、屋根付き広場の必要性
 - ① 現状と課題
 - ・雨天の場合の退避場所がない。
 - ② 必要性
 - ・雨天時のトレーニング(陸上、野球など)
 - ・グラウンドゴルフなどが可能
 - ・自衛隊とのスポーツ交流
- 2 建設場所
 - ・現在、駐車場のスペースを活用
- 3 基本指標
 - ① 面積等
 - ・現在の第二体育館程度
 - ・陸上のトレーニング
 - ・フットサル、ターゲットバードゴルフ